

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20385	
事業名	敬老優待乗車証交付費						
評価担当課	所属名	保) 高齢保健福 高齢福祉課					
	課長名	石崎 憲史	担当者名	内湯 慎平	電話番号	011-211-2976	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	高齢者の外出を支援し、社会参加を促進する。				
		長期	多年にわたり社会の発展に寄与してきた高齢者を敬愛するとともに、明るく豊かな老後の生活の充実を図る。				
	取組内容	市内の対象交通機関を1,000円～17,000円の利用者負担で、10,000円～70,000円分利用できる敬老優待乗車証を70歳以上の市民に交付する。 ①各種物品:対象者へ送付する申請書、封筒、乗車証の作成。②各種郵送料:対象者あて申請書、ICカード、納付書の郵送料。③委託業務:会計室データ取込、封入封緘、郵便局の乗車証チャージ。④交通事業者への負担金:各交通事業者への負担金の支払い。⑤返還金:乗車証を返還した場合の払戻金。					
実施結果	本事業の対象となる70歳以上の高齢者の82.8%にあたる345,573人の方に敬老優待乗車証を交付しており、多くの高齢者の外出を支援している。						
事業実施における工夫点	市民向け案内文、公共交通機関の吊り広告、区役所・郵便局・地下鉄駅でのポスター掲示及び広報さっぽろにより、敬老優待乗車証の利用方法などを多くの市民に周知した。						
対象者	札幌市内に住む70歳以上の高齢者			開始	昭和50年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	札幌市敬老優待乗車証交付規則						
他都市の状況	他の政令指定都市や道内都市で、同種の制度を実施している。						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	3,710,013	5,911,000	3,895,762	6,012,513	
うち特定財源	809,303	1,329,077	778,676	1,374,391	
人工	1.5	1.5	1.5	1.5	
人件費	10,800	10,800	10,800	10,800	
計(事業費+人件費)	3,720,813	5,921,800	3,906,562	6,023,313	
事業費の内訳	令和3年度決算	各種様式・ICカード等作成費(10-51):38,224千円、各種郵送料(11-01):44,204千円、各種委託料(郵便局への委託料、システム保守費、封入封緘・印字業務費)(12-01):198,139千円、各交通事業者への負担金等(18-01):3,538,081千円、償還金(利用者負担金)(22-01):12,290千円、その他:64,824千円			
	令和4年度予算	各種様式・ICカード等作成費(10-51):40,647千円、各種郵送料(11-01):52,259千円、各種委託料(郵便局への委託料、システム保守費、封入封緘・印字業務費)(12-01):186,566千円、各交通事業者への負担金等(18-01):5,713,026千円、償還金(利用者負担金)(22-01):11,913千円、その他:8,102千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	ICカード交付者数(年度末時点)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	331,685人	351,138人	345,573人	363,857人	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	令和3年度末時点で、本事業の対象である70歳以上の高齢者の82.8%(345,573人)に対し敬老優待乗車証を交付している。交通利用実績上は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けるかたちとなったが、交付者数自体は年々増加しており、引き続き多くの高齢者に利用されている事業であると言える。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	B	本市同様、対象者を70歳以上の高齢者としている政令市は複数あり、対象者一人あたりの経費は、他政令市と比較しても中程度である。一方、対象者である70歳以上人口の増加に伴う事業費の増加が課題となっていることから、社会情勢等の変化を踏まえた制度の見直しなどを検討していく必要がある。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	平成29年4月からのICカード化に伴い、市内交通機関のスムーズな乗降、紛失等の際の再交付が可能となるなどの利便性の向上を図ったほか、対象者等管理システム、ICカードチャージ端末システムを開発し、専門知識を持つ事業者に保守を依頼することで、適正に対象者等の管理を行っている。また、ICカードへのチャージや利用者負担金の支払いについては、市内全域を網羅している郵便局で行っていることから、実施手法は適切であると言える。			
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	A	平成30年度に実施した利用者実態調査の結果で、71.6%が「高齢者の外出意欲が高まり、健康増進や介護予防を推進する効果がある」と答え、高齢者の外出支援に対するニーズに応えている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	対象者である70歳以上人口の増加に伴う事業費の増加が課題となっており、社会情勢等の変化を踏まえた制度の見直しなどを検討していく必要がある。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	本事業の対象である70歳以上の高齢者の82.8%(345,573人)に対し敬老優待乗車証を交付していることから、多くの高齢者に利用されている事業であると言えるため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善    ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 高齢者の外出を支援し、社会参加を促進するため、持続可能な制度として運営を行っていく。			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 対象者である70歳以上人口の増加に伴い事業費が伸び続けていくことから、より効率的な事務執行について検討していく。		見直し効果額	0